

簡単なオペレーションで舗装の長寿命化、
美しい仕上がりを約束

アスファルト舗装用両面粘着テープ

アステープ

JTシリーズ

NETIS
KK-130019-A

2014年度 国土交通省
「建設企業等のための
経営戦略アドバイザリー事業
ステップアップ支援」選定



製造・販売元

☆株式会社石川建設

〒612-8437 京都市伏見区深草小久保町303
TEL:075-641-2384 FAX:075-645-2459

URL:<http://www.ishikawakensetsu.jp/>

販売代理店

舗装打ち換え時や切削オーバーレイ舗装の
サイドタックコートとして！



課題

舗装打ち換え工や切削オーバーレイ舗装のサイド接着剤として、打ち継ぎ目端部に乳剤を塗布していたが、接着力が弱く、塗布ムラが発生し均一に塗布できない。

また、液体をハケやブラシで塗布する作業は、近接する構造物や周辺物を汚損する可能性が高く、ガムテープなどによる養生作業も併発した。

解決

打ち継ぎ目端部を強力接着

- ◆サイドタックコートをアステープで施工することで、ストレートアスファルト以上の接着力を実現。
- ◆火気による溶融作業の廃止と養生作業の大幅な省略で、従来以上の効率的な施工を約束！

アスファルト舗装完了時の
シールコートとして！



課題

舗装打ち換え工や切削オーバーレイ舗装の終了後、端部補強工として、打ち継ぎ目上部に乳剤やストレートアスファルトをシールコートとして塗布していたが、乳剤では接着力が弱く、ストレートアスファルトでは、接着力は得られるが溶融するために火気と時間を必要とした。

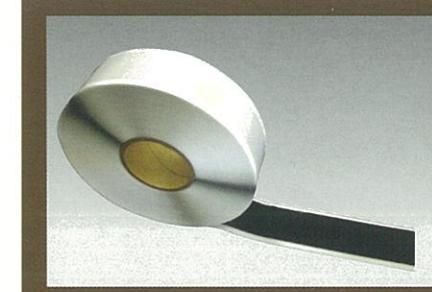
また、液体をハケやブラシで塗布する作業は近接する構造物や周辺物を汚損する可能性が高く、ガムテープなどによる養生作業も併発した。

解決

打ち継ぎ目端部を強力接着

- ◆完成した舗装の端部をシールコートとしてアステープで施工することで、ストレートアスファルト以上の接着力を実現！
- ◆火気による溶融作業の廃止と養生作業の大幅な省略で、従来以上の効率的な施工を約束！

アステープなら「サイドタックコート」としても「シールコート」としてもOK！



アステープ
JT50(幅5cm)・JT30(幅3cm)

舗装端部の骨材飛散防止や防水に威力

「アステープ」を使った新しいオーバーレイ工法

現在でも、舗装工事の現場ではアナログで危険な作業が改善されることなく、施工会社や施工管理会社には重大な責務が課せられています。私自身、これまで数多くの危険な現場作業を手掛け、毎日アスファルト合材を扱ってきました。「アステープ」を使用することにより、現場作業員の危険を減らすことはもちろん、施工管理会社としての責務も果たすことができ、更には周辺環境への安全に繋がることを確信しています。「アステープ」を通じて、皆様方の安全に一役を担えればと願っております。

株式会社 石川建設
代表取締役 石川英明

安心・安全

従来のオーバーレイ工法を覆す「火気を扱わない」という新たな発想で、作業中の火災事故や火傷などの危険を防ぎ、養生作業もなくなります。現場や地域社会の安心・安全を確保。

時短

粘着テープを「貼つて剥がす」という簡単なオペレーションにより、ストレートアスファルト加熱の手間を省き、作業工程の簡素化と作業時間の大縮短を実現。

コスト

作業時間の短縮や作業人員の削減につながり、現場1箇所あたりの生産性・収益性が向上。道路規制時間の短縮など、施工主様に対するメリットも大。

環境

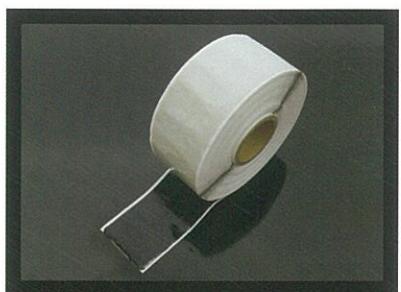
ストレートアスファルトを持ち運ぶ容器の廃棄が不要に。火気の使用の廃止により、CO₂の排出削減にも貢献。エコ時代のニーズに応える新商品。

性能

アスファルト接着力(3点曲げ強度試験)=約724ニュートン。ストレートアスファルト以上の強固な粘着力で舗装端部を一体化。

モデル施工比較表

	アステープ施工			ストレートアスファルト施工			乳剤施工		
	天然資源	火器の使用	無	天然資源	火器の使用	有	天然資源	火器の使用	無
環境									
性能	3点曲げ試験 アスファルト面 最大点試験力(平均値) コンクリート面 最大点試験力(平均値)	無	724N 487N	3点曲げ試験 アスファルト面 最大点試験力(平均値) コンクリート面 最大点試験力(平均値)	有	505N 372N	3点曲げ試験 アスファルト面 最大点試験力(平均値) コンクリート面 最大点試験力(平均値)	無	150N 27N
作業時間(接着剤)	1箇所あたり(20m)作業時間	15分	1箇所あたり(20m)作業時間	35分	1箇所あたり(20m)作業時間	20分			



アステープ
従来のストレートアスファルトの代わりに、特殊な粘着テープで舗装面を接着する新工法。

「アステープ」の使用手順・方法



●NETIS登録番号:KK-130019-A

- 平成24年度「建設技術展2012近畿」審査員特別賞
- 特許取得済(特許第4647995号 舗装用両面粘着テープおよび舗装方法)
- 京都商工会議所「第3回知恵ビジネスプランコンテスト」認定
- 平成25年度国土交通省アドバイザリー事業認定
- 商標登録済(登録第5471998号 アスファルト舗装用粘着テープ)
- 京都府「経営革新計画」承認

※取扱上の注意

- 使用前は既設舗装面を十分に清掃してください。
- 砂埃などが付着すると接着力が低下する恐れがあります。
- 既設舗装面が水分や油分で濡れていると接着しにくくなります。
- 特に乾燥させてからご使用ください。
- 直射日光が当たらない、平坦な場所に保管してください。
- 特に、夏場の暑さは劣化の原因になるのでご注意ください。

※保管上の注意

- 火気厳禁、一定の場所を定めて冷暗所に保管する(耐火設備)40℃以下
- 直射日光を避ける。
- 高温での長期間の保管は避ける。

※応急処置

- 自入った場合:洗浄水で15分以上洗眼し直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合:汚染した衣服を脱ぎ捨て、直ちに付着部又は接触部を大量の水で洗浄する。
- 吸引した場合:空気の新鮮な所に移し、直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合:水で口の中を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。